

<http://recorder311.smt.jp/>



チャンネルガイド 1月 前半

わすれんTV311とは、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」にあるユーストリーム番組の放送局です。この放送局からは、市民、専門家、スタッフが協働して、一人ひとりの震災体験を語り直し、震災復興の支援活動を考える番組を放送します。各番組は上記ホームページからご覧いただけます。

*ユーストリームとは…動画のライブ生中継および共有ができるインターネットサービスです。

暮らしのシェア

1/8 日 10:30 - 11:30

第6回

コッペは仙台市宮城野区にあるパンとクッキーの店です。障がいのある人もない人も一緒に働いています。震災直後は、市内で買うことが難しかったパンですが、仕事を復旧させていく中でどのように困難を乗り越えていったかお話を伺います。パン屋さんの仕事を通して、震災後のお店と障がいのある人の生活について考えます。

ゲスト 飯嶋茂 (特定非営利法人 麦の会、パンとクッキーの店 コッペ)

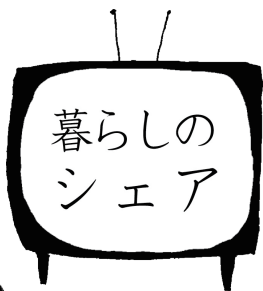
<http://www.muginokai-koppe.com>

ホスト 小野朋浩 (小さな街)

主催 3がつ11にちをわすれないためにセンター

協力 せんだいコミュニティカフェ準備室

<http://sendaicommucafe.blogspot.com/>



定禅寺ジャーナル

1/10 火 18:00 - 19:45

第16回「食」

仙台のビッグイシュー販売者・鈴木太さんがさまざまなジャンルを斬る批評紙「定禅寺ジャーナル」のウェブ版。震災後の世界について本音で語り合います。新年一回目となる今回のテーマはズバリ「食」。ジャンクフードに代表される食と生活スタイルは、現代社会におけるさまざまな問題の根底に位置するものです。今、「食べる」とはどういうことなのか。鈴木氏自らが包丁を握り、実践形式でこの問題に切り込みます。

出演 鈴木太 (定禅寺ジャーナル編集長)

太田一彦 (フォト&ビデオグラファー)

門脇篤 (門脇篤まちとアート研究所)

主催 定禅寺ジャーナルウェブ版 <http://www.kadowakiart.com/jozenjijournal/>



障がい者グラフィティ

1/11 水 14:00 - 15:00

vol.4 「震災時の聴覚障害者のバリア」

障がいがある人たちが日ごろから抱えていた様々なバリアは、今回の震災でより深層化、顕在化しました。このプログラムでは、異なる障がいを持つ人々やそれを支えた人々に、震災以前や震災直後の「これまで」と、復興の途にある「これから」を語っていただきます。また、非日常の中で体験した個々の思いや声を通じて、本当のノーマライゼーションとは何かを、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

ゲスト 工藤豊 (みやぎ手話工房フロムハート代表)

ホスト 伊藤清市 (NPO 法人ゆにふりみやぎ代表)

及川智 (CIL たすけっと代表、被災地障がい者センターみやぎ代表)

主催 NPO 法人ゆにふりみやぎ

CIL たすけっと

3がつ11にちをわすれないためにセンター



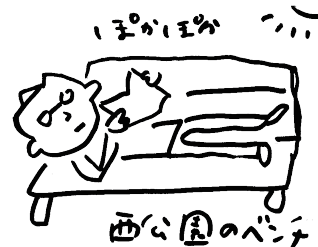
リモコンマークがついている番組は、せんだいメディアテーク2階スタジオで観覧できます。*観覧者は映像に映りません。
他番組については <http://recorder311.smt.jp/recorder311/> をご覧ください。

つれちゃんゆれゆれ311 1/11 水 18:00 - 19:30

第7回

つれづれ団員が雑談しながら、震災体験を語ります。ゲストは、気仙沼出身の若きお二人、沖縄でフルマラソン初完走の村上さんと段ボール家具で支援活動をしている藤村さんです。そして、今回はなんと！佐藤ジュンコに対抗して、3がつ11にちとそれ以降の体験をそれぞれのオリジナルイラストにてふりかえります。3人のコラボレーションが果たして見られるのか?! 新年早々デラックス。

ゲスト 村上美緒 (迷い人)
藤村和成 (house publishing 代表)
ホスト 桃生和成 (つれづれ団代表)
イラスト 佐藤ジュンコ (書店員)
主催 3がつ11にちをわすれないためにセンター
協力 つれづれ団



drawing by Junko Sato

*つれづれ団とは
2008年4月に結成された東北の日常生活を「遊び」でおもしろくするために活動している人々のゆる〜い集まりです。
<http://tsurezuredan.cocolog-nifty.com/>

支援のかたち 1/15 日 14:30 - 15:30

第11回「傾聴」

仙台や名取で傾聴ボランティアとして活動している団体の方をお招きし、相手の話をありのままに受け止めて「聴く」支援の現場について語っていただきます。

ゲスト 森山英子 (仙台傾聴の会 代表)
佐々木香代子 (仙台傾聴の会 名取支部長)
濱田ヨリ子 (仙台傾聴の会 名取支部仮設担当)
主催 仙台市市民活動サポートセンター
3がつ11にちをわすれないためにセンター

*サポセンかわら版とは
仙台市市民活動サポートセンターが発行している復興支援活動に関する情報紙です。
<http://www.sapo-sen.jp/kawaraban>

1月27日せんだいメディアテーク7階がオープンします!

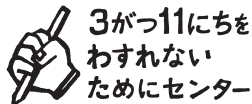
1月23日(月)～26日(木)、7階オープン準備のため、臨時休館いたします。

3がつ11にちをわすれないためにセンターも、2階から7階に引っ越します。

これまで通り、スタジオで番組を観覧したり、参加者登録をして活動をしたりしていただけます。

ますます充実した活動が展開できるよう、環境づくりをしていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

放送終了後もホームページでご視聴いただけます! <http://recorder311/smt/jp/>



当センターでは、市民、専門家、スタッフが協働し、復旧・復興のプロセスを独自に発信、記録していきます。さまざまなメディアの活用を通じ、情報共有、復興推進に努めるとともに、収録された映像、写真、音声、テキストなどを「震災復興アーカイブ」として記録保存します。



お問い合わせ
せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
Tel:022-713-4483 / Fax:022-713-4482
E-mail:wasuren@smt.city.sendai.jp
Twitter/Ustream/Facebook:@recorder311

この紙はリサイクルできます